

第 56 回「山形県内企業の景気動向調査」速報

(平成 30 年 8 月調査)

～景況感は 5 期連続で悪化～

【 調査の要旨 】

- **県内企業の業況**は、自社の業況判断を示す「自社の業況 D I 値 (前年同期比)」が▲1.5 (前回調査比 1.2 ポイント下落)と**小幅ながら 5 期連続で悪化**した。「各種 D I 値 (前年同期比)」をみると、「売上高」「営業利益」「資金繰り」が悪化となった。「人員・人手」は 1.9 ポイント上昇し、依然として人手不足感が強まっている。
- **業種別**に「自社の業況 D I 値 (前年同期比)」をみると、建設業が 0.0 (前回調査比 2.1 ポイント上昇)、製造業が 11.8 (前回調査比 7.5 ポイント下落)、卸・小売業が▲21.0 (前回調査比 4.5 ポイント下落)、サービス業が 0.0 (前回調査比 7.8 ポイント上昇)と、建設業とサービス業で改善したものの、製造業と卸・小売業で悪化となった。原料費・燃料費の上昇等が業況に影響している状況がうかがえる。
- **地域別**に「自社の業況 D I 値 (前年同期比)」をみると、村山南部が▲3.6 (前回調査比 3.4 ポイント上昇)、村山北部が 2.2 (前回調査比 9.8 ポイント下落)、最上が▲2.3 (前回調査比 9.1 ポイント下落)、置賜が 3.7 (前回調査比 5.4 ポイント上昇)、庄内田川が▲1.2 (前回調査比 0.1 ポイント上昇)、庄内飽海が▲4.0 (前回調査比 4.0 ポイント下落)となっている。村山南部と置賜で改善、庄内田川でほぼ横ばいとなったものの、村山北部、最上、庄内飽海で悪化となった。最上と庄内飽海では D I 値がマイナスに転じている。
- **先行き見通し**は「自社の業況 D I 値 (前年同期比)」が▲4.9 (今回調査比 3.4 ポイント下落)とさらに悪化の見込みとなっている。

【特別調査】

- **設備投資動向**について尋ねたところ、30 年度中に設備投資を「実施する (した)」と回答した企業の割合は 42.7%と、前年度に比べ 3.8 ポイント上昇となった。

平成 30 年 9 月

株式会社 フィデア総合研究所

目次

I.	県内企業の業況	1
1.	概況	1
2.	業種別の動向	2
(1)	業種別の概況	2
(2)	業種別 D I 値の動向	3
①	建設業	3
②	製造業	4
③	卸・小売業	5
④	サービス業	6
3.	地域別の動向	7
(1)	地域別の概況	7
(2)	地域別 D I 値の動向	8
①	村山南部	8
②	村山北部	9
③	最上	10
④	置賜	11
⑤	庄内田川	12
⑥	庄内飽海	13
II.	景気の天気予報図	14
III.	特別調査	15
1.	設備投資動向	15
2.	設備投資金額	17
3.	設備投資目的	18
<参考資料 I : 地域別・業種別回答率>		20
<参考資料 II : 調査の概要>		20

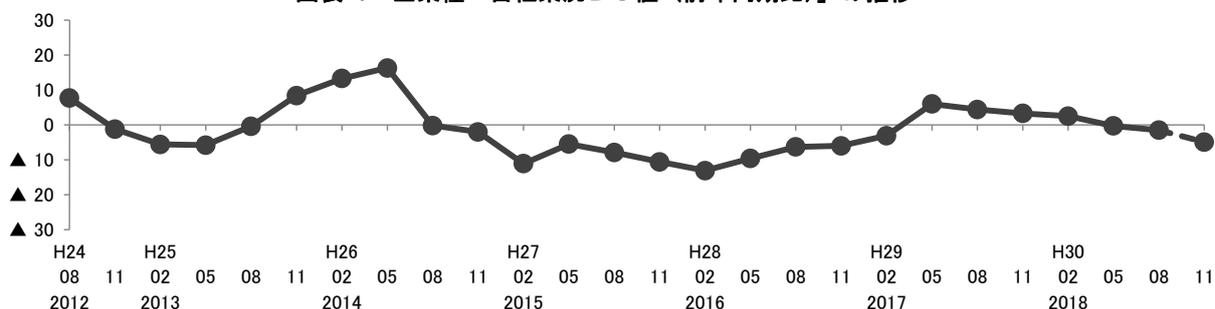
I. 県内企業の業況

1. 概況

県内企業の業況は、自社の業況判断を示す「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲1.5（前回調査比 1.2 ポイント下落）と小幅ながら 5 期連続で悪化した。「各種 D I 値（前年同期比）」をみると、「売上高」「営業利益」「資金繰り」が悪化となった。「人員・人手」は 1.9 ポイント上昇し、依然として人手不足感が強まっている。

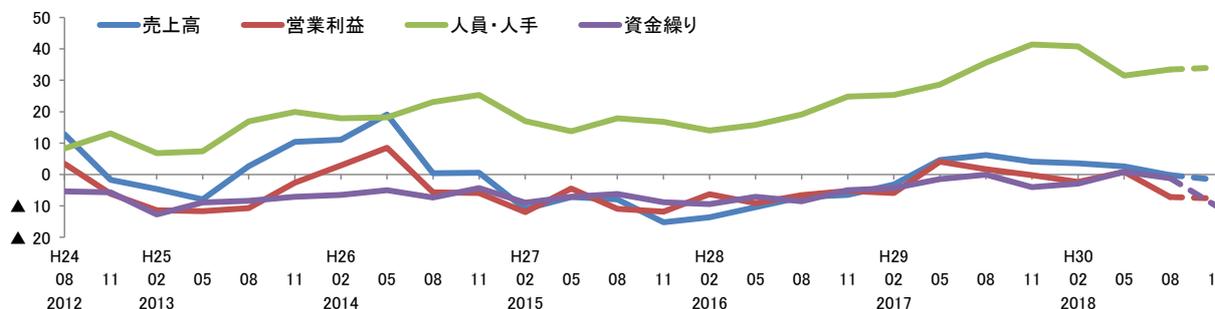
先行き見通しは、「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲4.9（今回調査比 3.4 ポイント下落）とさらに悪化の見込みとなっている。

図表 1 全業種「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



見通し

図表 2 全業種「各種 D I 値（前年同期比）」の推移



見通し

前年同期比の自社業況 D I 値

山形県 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			売上高	営業利益	人員 人手	資金 繰り
	全業種	前回調査比	前回調査予測				
H 29.08 (n=435)	4.4	(▲ 1.6)	▲ 9.0	6.2	1.7	35.6	0.0
H 29.11 (n=418)	3.3	(▲ 1.1)	▲ 6.7	4.1	▲ 0.2	41.4	▲ 4.0
H 30.02 (n=414)	2.5	(▲ 0.8)	▲ 8.1	3.6	▲ 2.4	40.8	▲ 2.9
H 30.05 (n=426)	▲ 0.3	(▲ 2.8)	▲ 12.5	2.6	0.9	31.5	0.9
H 30.08 (n=412)	▲ 1.5	(▲ 1.2)	▲ 9.6	▲ 0.2	▲ 7.2	33.4	▲ 1.2
前回調査比	-	-	-	(▲ 2.8)	(▲ 8.1)	(1.9)	(▲ 2.1)
先行き見通し	▲ 4.9	-	-	▲ 1.7	▲ 7.6	34.0	▲ 10.0
今回調査比	(▲ 3.4)	-	-	(▲ 1.5)	(▲ 0.4)	(0.6)	(▲ 8.8)

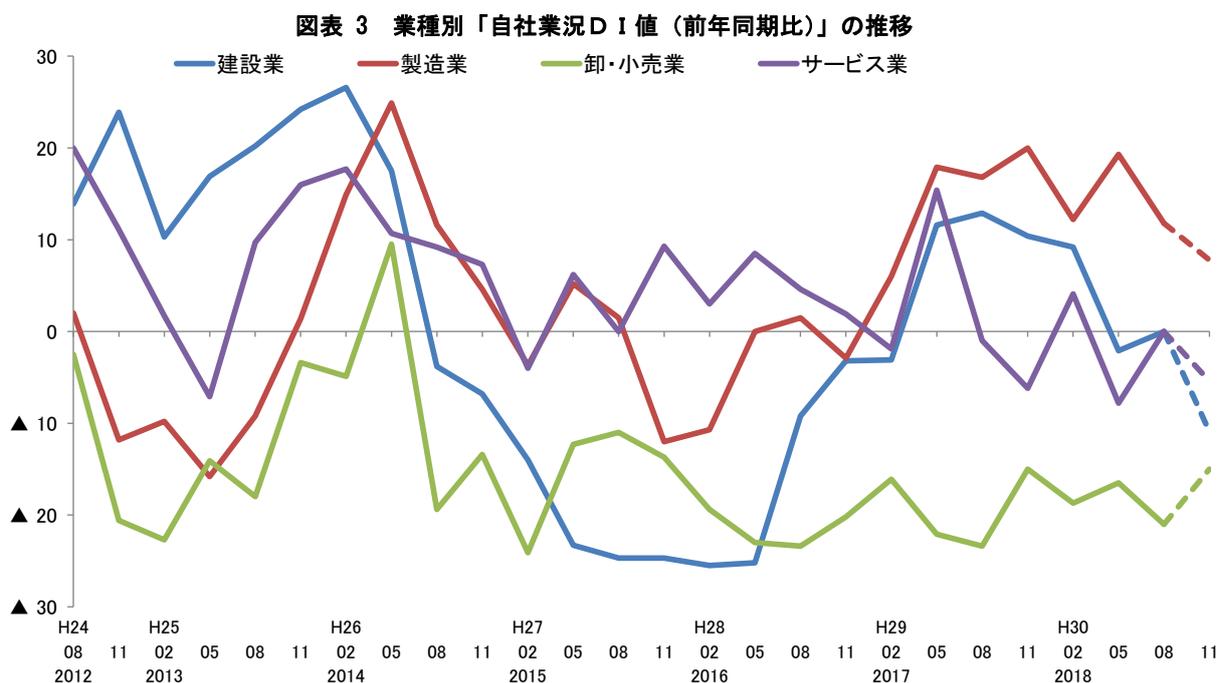
※「売上高」D I 値は建設業の「完成工事高」を含んだ数値

2. 業種別の動向

(1) 業種別の概況

業種別に「自社の業況DI値（前年同期比）」をみると、建設業が0.0（前回調査比2.1ポイント上昇）、製造業が11.8（前回調査比7.5ポイント下落）、卸・小売業が▲21.0（前回調査比4.5ポイント下落）、サービス業が0.0（前回調査比7.8ポイント上昇）と、建設業とサービス業で改善したもの、製造業と卸・小売業で悪化となった。原料費・燃料費の上昇等が業況に影響している状況がうかがえる。

業況の先行き見通しは、建設業、製造業、サービス業で悪化の見込みとなっている。



見通し

前年同期比の自社業況DI値

業種別 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）				
	全業種	建設	製造	卸・小売	サービス
H 29. 08 (n=435)	4.4	12.9	16.8	▲ 23.4	▲ 1.0
H 29. 11 (n=418)	3.3	10.4	20.0	▲ 15.0	▲ 6.2
H 30. 02 (n=414)	2.5	9.2	12.2	▲ 18.7	4.1
H 30. 05 (n=426)	▲ 0.3	▲ 2.1	19.3	▲ 16.5	▲ 7.8
H 30. 08 (n=412)	▲ 1.5	0.0	11.8	▲ 21.0	0.0
前回調査比	(▲ 1.2)	(2.1)	(▲ 7.5)	(▲ 4.5)	(7.8)
先行き見通し	▲ 4.9	▲ 10.9	7.8	▲ 15.0	▲ 5.4
今回調査比	(▲ 3.4)	(▲ 10.9)	(▲ 4.0)	(6.0)	(▲ 5.4)

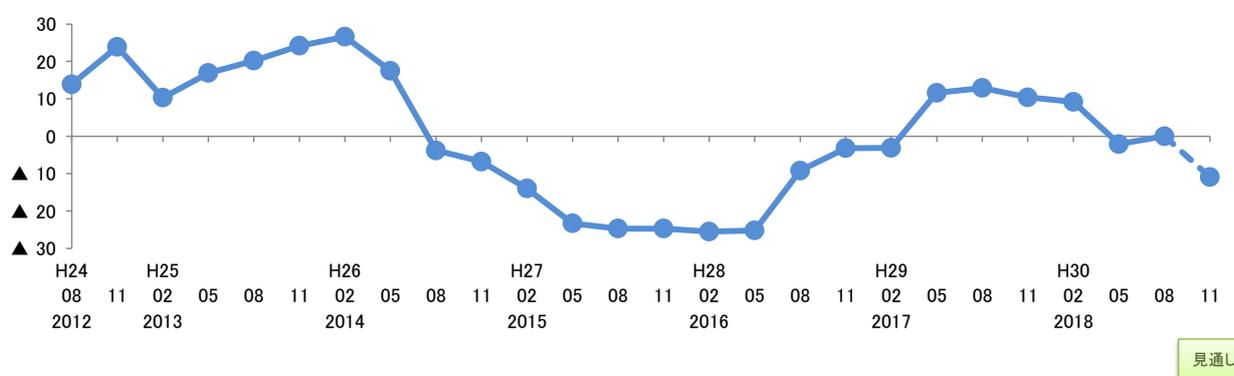
(2) 業種別 D I 値の動向

① 建設業

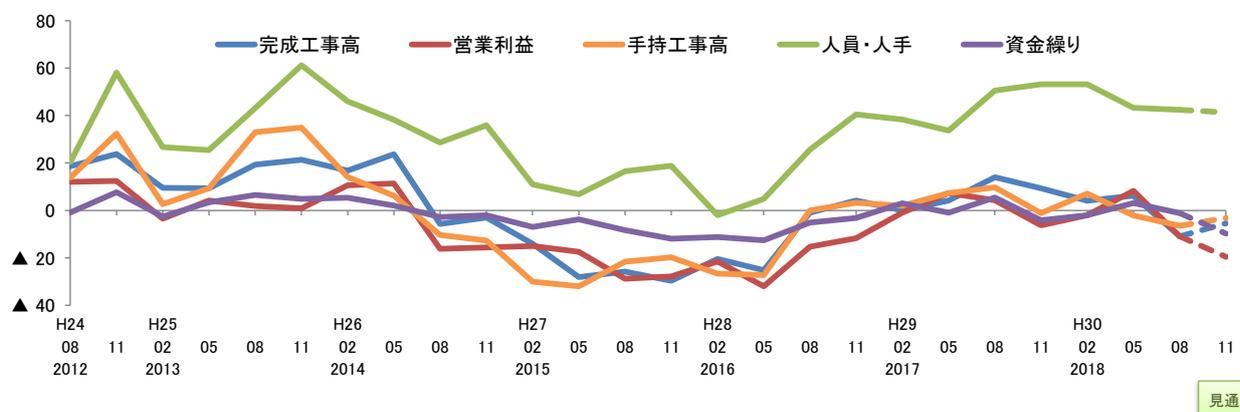
「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は 0.0（前回調査比 2.1 ポイント上昇）と 4 期ぶりに若干改善した。「各種 D I 値（前年同期比）」をみると、「人員・人手」がほぼ横ばいとなったものの、他の 4 項目で悪化した。ただし、各社のコメントからは、公共工事は停滞傾向ながら、一部企業では民間工事が順調な状況もうかがえ、このため「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が改善したものと考えられる。

業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲10.9（今回調査比 10.9 ポイント下落）と大幅に悪化が見込まれている。

図表 4 建設業「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



図表 5 建設業「各種 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

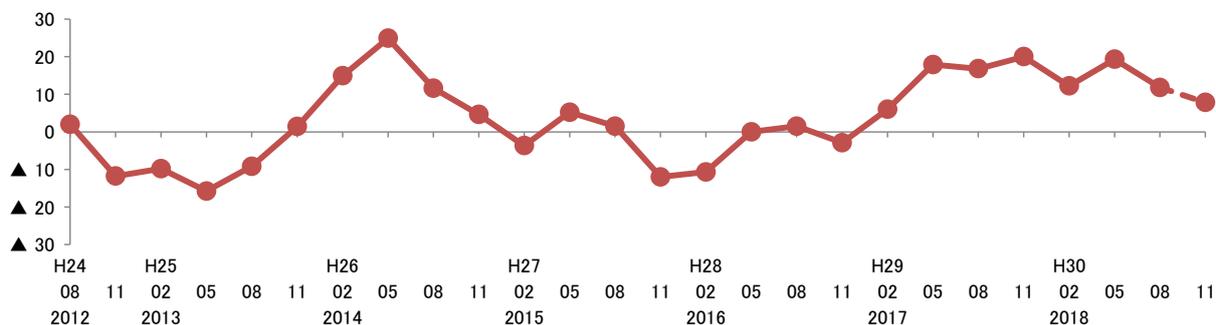
建設業 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			完成 工事高	営業 利益	手持 工事高	人員 人手	資金 繰り
	前回調査比	前回調査予測						
H 29. 08 (n=93)	12. 9	(1. 3)	▲ 20. 0	14. 0	4. 3	9. 7	50. 5	5. 4
H 29. 11 (n=97)	10. 4	(▲ 2. 5)	▲ 10. 8	9. 3	▲ 6. 3	▲ 1. 1	53. 1	▲ 4. 2
H 30. 02 (n=98)	9. 2	(▲ 1. 2)	▲ 17. 7	4. 1	▲ 2. 0	7. 1	53. 1	▲ 2. 0
H 30. 05 (n=97)	▲ 2. 1	(▲ 11. 3)	▲ 23. 5	6. 2	8. 3	▲ 2. 1	43. 3	3. 1
H 30. 08 (n=92)	0. 0	(2. 1)	▲ 24. 7	▲ 10. 9	▲ 10. 9	▲ 6. 5	42. 4	▲ 1. 1
前回調査比	-	-	-	(▲ 17. 1)	(▲ 19. 2)	(▲ 4. 4)	(▲ 0. 9)	(▲ 4. 2)
先行き見通し	▲ 10. 9	-	-	▲ 5. 4	▲ 19. 6	▲ 3. 2	41. 3	▲ 9. 8
今回調査比	(▲ 10. 9)	-	-	(5. 5)	(▲ 8. 7)	(3. 3)	(▲ 1. 1)	(▲ 8. 7)

② 製造業

「自社の業況DI値（前年同期比）」は11.8（前回調査比7.5ポイント下落）と悪化した。「各種DI値（前年同期比）」をみると、「在庫状況」が改善したものの、「売上高」「営業利益」「仕入価格」「資金繰り」が悪化、「人員・人手」はプラス幅を拡大した。各社のコメントをみると、原燃料費の上昇による利益率の低下等の状況がうかがえる。

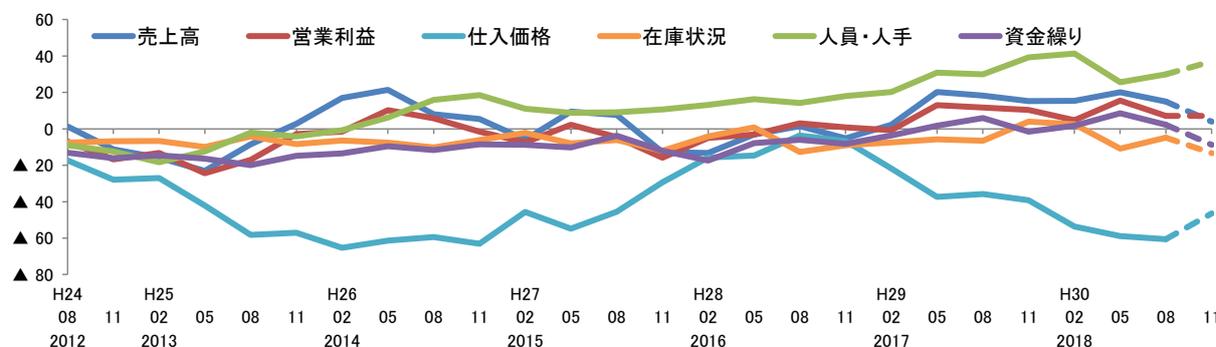
業況の先行き見通しは、「自社の業況DI値（前年同期比）」が7.8（今回調査比4.0ポイント下落）とさらに悪化の見込みとなっている。

図表 6 製造業「自社業況DI値（前年同期比）」の推移



見通し

図表 7 製造業「各種DI値（前年同期比）」の推移



見通し

前年同期比の自社業況DI値

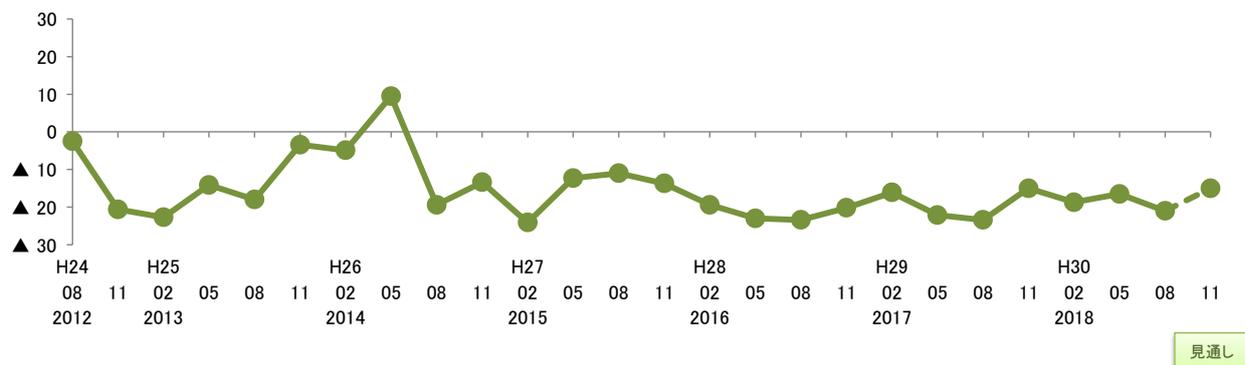
製造業 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			売上高	営業利益	仕入価格	在庫状況	人員 人手	資金繰り
	前回調査比	前回調査予測							
H 29.08 (n=137)	16.8	(▲ 1.1)	8.2	18.3	11.7	▲ 35.8	▲ 6.5	29.9	5.9
H 29.11 (n=125)	20.0	(3.2)	2.9	15.2	10.4	▲ 39.2	4.0	39.2	▲ 1.6
H 30.02 (n=123)	12.2	(▲ 7.8)	2.4	15.4	4.8	▲ 53.6	2.5	41.4	1.7
H 30.05 (n=129)	19.3	(7.1)	▲ 9.0	20.1	15.5	▲ 58.9	▲ 10.8	25.6	8.5
H 30.08 (n=127)	11.8	(▲ 7.5)	1.6	15.0	7.1	▲ 60.6	▲ 4.8	29.9	2.3
前回調査比	-	-	-	(▲ 5.1)	(▲ 8.4)	(▲ 1.7)	(6.0)	(4.3)	(▲ 6.2)
先行き見通し	7.8	-	-	4.0	7.1	▲ 46.4	▲ 13.4	37.0	▲ 8.7
今回調査比	(▲ 4.0)	-	-	(▲ 11.0)	(0.0)	(14.2)	(▲ 8.6)	(7.1)	(▲ 11.0)

③ 卸・小売業

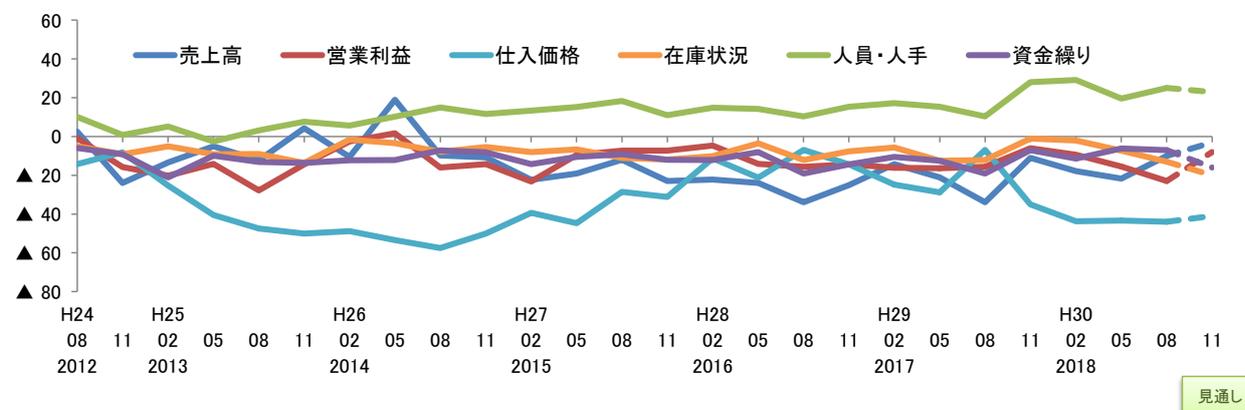
「自社の業況DI値（前年同期比）」は▲21.0（前回調査比 4.5 ポイント下落）と悪化した。「各種DI値（前年同期比）」をみると、「売上高」「人員・人手」が改善した一方、「営業利益」「在庫状況」が悪化、「仕入価格」と「資金繰り」はほぼ横ばいとなった。各社のコメントからは消費低迷に加え、燃料費や仕入価格および人件費の上昇等の影響がうかがえる。

業況の先行き見通しは、「自社の業況DI値（前年同期比）」が▲15.0（今回調査比 6.0 ポイント上昇）と、一進一退の状況が見込まれている。

図表 8 卸・小売業「自社業況DI値（前年同期比）」の推移



図表 9 卸・小売業「各種DI値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況DI値

卸・小売業 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			売上高	営業利益	仕入価格	在庫状況	人員 人手	資金繰り
	前回調査比	前回調査予測							
H 29.08 (n=105)	▲ 23.4	(▲ 1.3)	▲ 13.4	▲ 33.9	▲ 15.6	▲ 6.9	▲ 12.1	10.4	▲ 19.1
H 29.11 (n=100)	▲ 15.0	(8.4)	▲ 12.2	▲ 11.0	▲ 6.0	▲ 35.0	▲ 1.0	28.0	▲ 7.0
H 30.02 (n=96)	▲ 18.7	(▲ 3.7)	▲ 13.0	▲ 17.8	▲ 9.4	▲ 43.7	▲ 2.1	29.2	▲ 11.4
H 30.05 (n=97)	▲ 16.5	(2.2)	▲ 15.6	▲ 21.7	▲ 15.5	▲ 43.3	▲ 7.3	19.6	▲ 6.2
H 30.08 (n=100)	▲ 21.0	(▲ 4.5)	▲ 5.2	▲ 10.0	▲ 23.0	▲ 44.0	▲ 13.0	25.0	▲ 7.0
前回調査比	-	-	-	(11.7)	(▲ 7.5)	(▲ 0.7)	(▲ 5.7)	(5.4)	(▲ 0.8)
先行き見通し	▲ 15.0	-	-	▲ 3.0	▲ 8.0	▲ 41.0	▲ 20.0	23.0	▲ 16.0
今回調査比	(6.0)	-	-	(7.0)	(15.0)	(3.0)	(▲ 7.0)	(▲ 2.0)	(▲ 9.0)

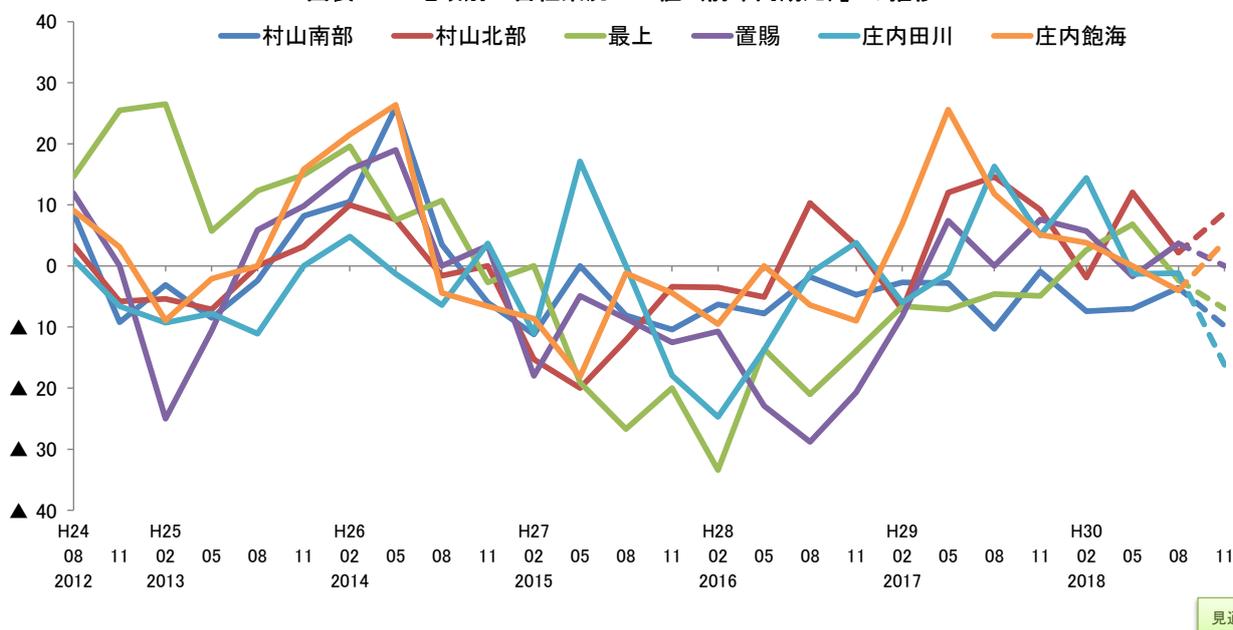
3. 地域別の動向

(1) 地域別の概況

地域別に「自社の業況DI値（前年同期比）」をみると、村山南部が▲3.6（前回調査比 3.4 ポイント上昇）、村山北部が 2.2（前回調査比 9.8 ポイント下落）、最上が▲2.3（前回調査比 9.1 ポイント下落）、置賜が 3.7（前回調査比 5.4 ポイント上昇）、庄内田川が▲1.2（前回調査比 0.1 ポイント上昇）、庄内飽海が▲4.0（前回調査比 4.0 ポイント下落）となっている。村山南部と置賜で改善、庄内田川でほぼ横ばいとなったものの、村山北部、最上、庄内飽海で悪化となった。最上と庄内飽海ではDI値がマイナスに転じている。

業況の先行き見通しをみると、村山南部、最上、置賜、庄内田川で悪化が見込まれている。

図表 12 地域別「自社業況DI値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況DI値

地域別 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）						
	全地域	村山南部	村山北部	最上	置賜	庄内田川	庄内飽海
H 29.08 (n=435)	4.4	▲ 10.3	14.6	▲ 4.6	0.0	16.3	11.8
H 29.11 (n=418)	3.3	▲ 0.9	9.2	▲ 4.9	7.6	5.0	5.1
H 30.02 (n=414)	2.5	▲ 7.4	▲ 1.9	2.6	5.7	14.4	3.8
H 30.05 (n=426)	▲ 0.3	▲ 7.0	12.0	6.8	▲ 1.7	▲ 1.3	0.0
H 30.08 (n=412)	▲ 1.5	▲ 3.6	2.2	▲ 2.3	3.7	▲ 1.2	▲ 4.0
前回調査比	(▲ 1.2)	(3.4)	(▲ 9.8)	(▲ 9.1)	(5.4)	(0.1)	(▲ 4.0)
先行き見通し	▲ 4.9	▲ 9.8	8.7	▲ 7.0	0.0	▲ 16.2	4.0
今回調査比	(▲ 3.4)	(▲ 6.2)	(6.5)	(▲ 4.7)	(▲ 3.7)	(▲ 15.0)	(8.0)

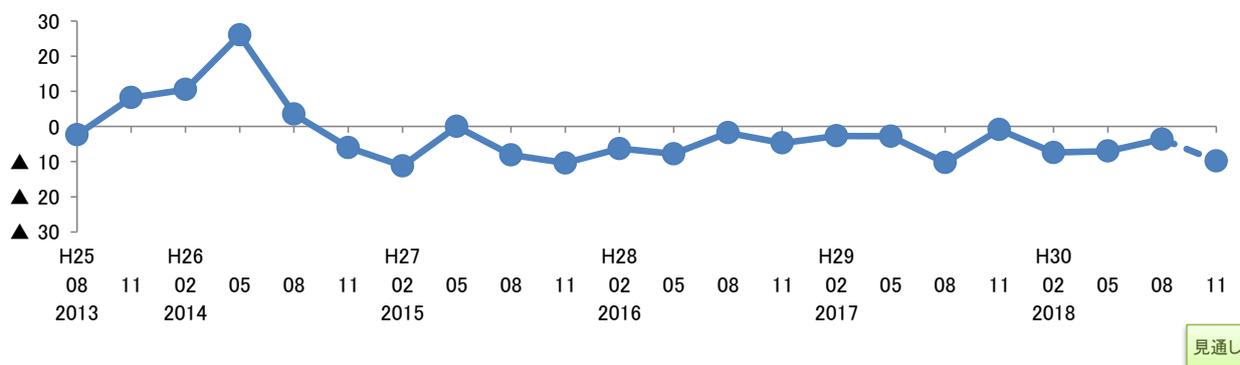
(2) 地域別 D I 値の動向

① 村山南部

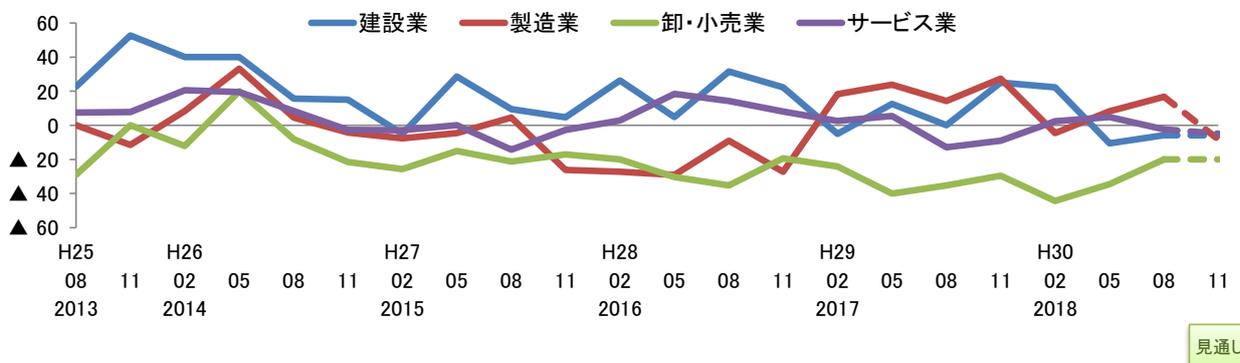
「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は▲3.6（前回調査比 3.4 ポイント上昇）と小幅ながら 2 期連続で改善した。業種別にみると、サービス業で悪化となっているものの、その他の 3 業種は改善となっている。

業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲9.8（今回調査比 6.2 ポイント下落）と一進一退の状況が見込まれている。

図表 13 村山南部「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



図表 14 村山南部「業種別・自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

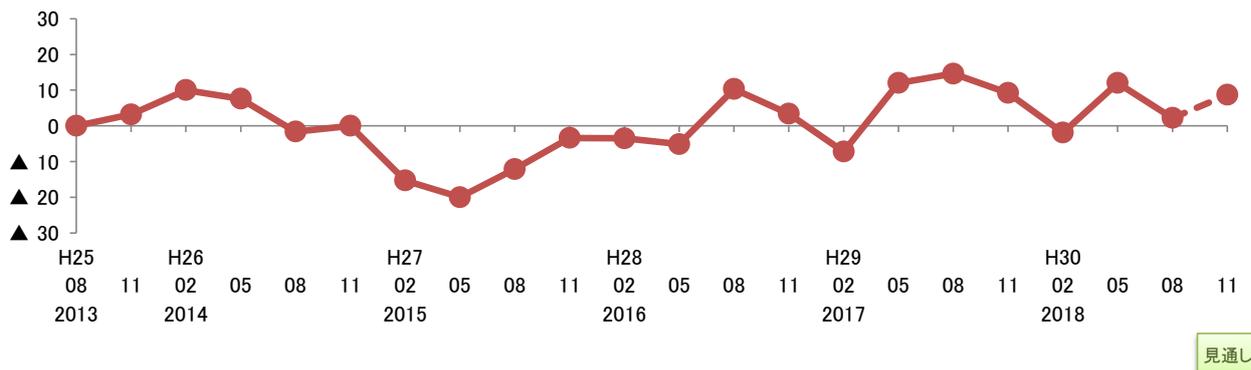
村山南部 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			業種別/自社業況（前年同期比）			
	全業種	前回調査比	前回調査予測	建設	製造	卸・小売	サービス
H 29.08 (n=107)	▲ 10.3	(▲ 7.6)	▲ 11.6	0.0	14.3	▲ 35.3	▲ 12.9
H 29.11 (n=113)	▲ 0.9	(9.4)	▲ 8.4	25.0	27.3	▲ 29.6	▲ 9.1
H 30.02 (n=108)	▲ 7.4	(▲ 6.5)	▲ 4.4	22.2	▲ 4.6	▲ 44.4	2.4
H 30.05 (n=114)	▲ 7.0	(0.4)	▲ 10.2	▲ 10.6	8.3	▲ 34.5	4.8
H 30.08 (n=112)	▲ 3.6	(3.4)	▲ 9.6	▲ 5.8	16.7	▲ 20.0	▲ 2.4
前回調査比	-	-	-	(4.8)	(8.4)	(14.5)	(▲ 7.2)
先行き見通し	▲ 9.8	-	-	▲ 5.9	▲ 8.3	▲ 20.0	▲ 4.8
今回調査比	(▲ 6.2)	-	-	(▲ 0.1)	(▲ 25.0)	(0.0)	(▲ 2.4)

② 村山北部

「自社の業況DI値（前年同期比）」は 2.2（前回調査比 9.8 ポイント下落）と、一進一退の状況となっている。業種別にみると、建設業を除く 3 業種で悪化となった。

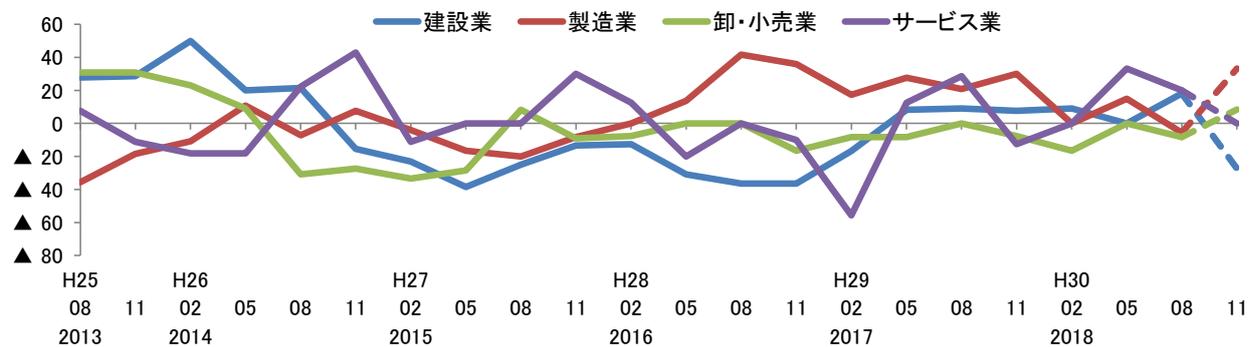
業況の先行き見通しは、「自社の業況DI値（前年同期比）」が 8.7（今回調査比 6.5 ポイント上昇）と改善の見込みとなっている。

図表 15 村山北部「自社業況DI値（前年同期比）」の推移



見通し

図表 16 村山北部「業種別・自社業況DI値（前年同期比）」の推移



見通し

前年同期比の自社業況DI値

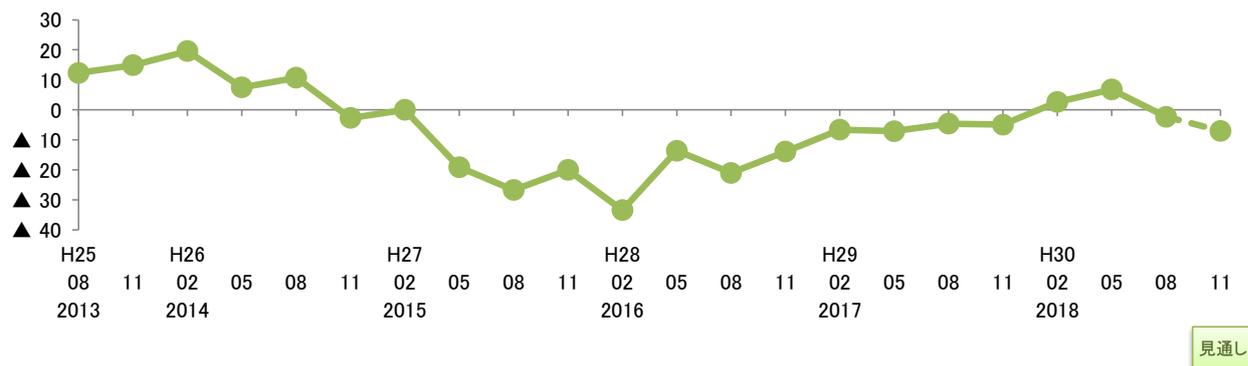
村山北部 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			業種別/自社業況（前年同期比）			
	全業種	前回調査比	前回調査予測	建設	製造	卸・小売	サービス
H 29.08 (n=55)	14.6	(2.6)	▲ 6.0	9.1	20.8	0.0	28.6
H 29.11 (n=54)	9.2	(▲ 5.4)	▲ 5.4	7.7	30.0	▲ 7.7	▲ 12.5
H 30.02 (n=52)	▲ 1.9	(▲ 11.1)	1.8	9.1	0.0	▲ 16.6	0.0
H 30.05 (n=50)	12.0	(13.9)	▲ 5.8	0.0	15.0	0.0	33.3
H 30.08 (n=46)	2.2	(▲ 9.8)	18.0	18.2	▲ 5.6	▲ 8.3	20.0
前回調査比	-	-	-	(18.2)	(▲ 20.6)	(▲ 8.3)	(▲ 13.3)
先行き見通し	8.7	-	-	▲ 27.3	33.3	8.4	0.0
今回調査比	(6.5)	-	-	(▲ 45.5)	(38.9)	(16.7)	(▲ 20.0)

③ 最上

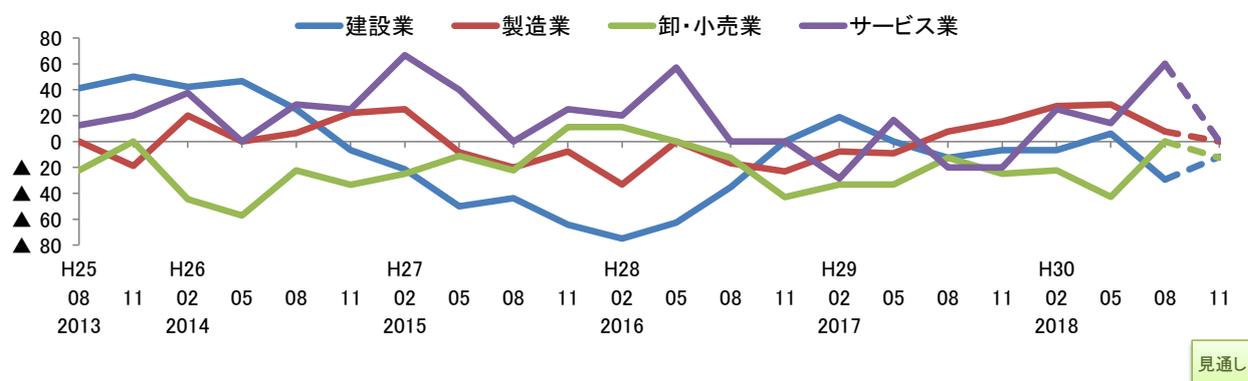
「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は▲2.3（前回調査比 9.1 ポイント下落）と悪化し、D I 値がマイナスに転じた。業種別にみると、建設業、製造業で大幅に悪化となっている。

業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲7.0（今回調査比 4.7 ポイント下落）と悪化の見込みとなっている。

図表 17 最上「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



図表 18 最上「業種別・自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

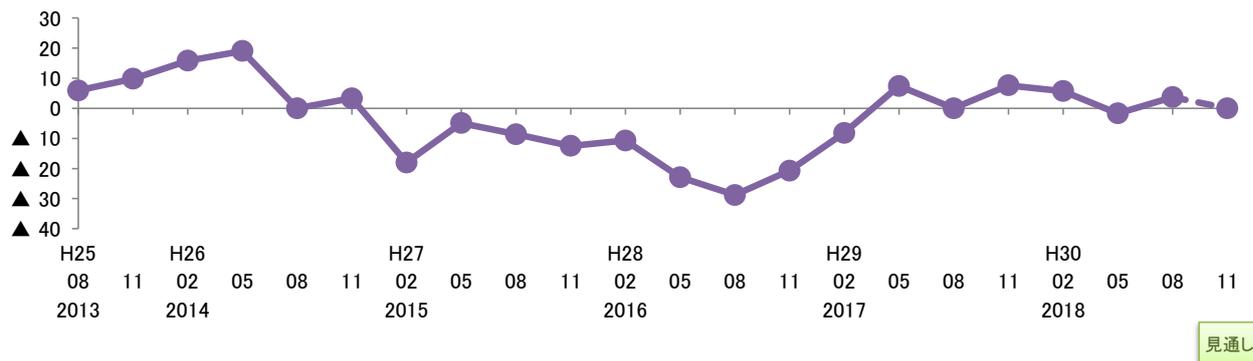
最上 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			業種別/自社業況（前年同期比）			
	全業種	前回調査比	前回調査予測	建設	製造	卸・小売	サービス
H 29.08 (n=44)	▲ 4.6	(2.5)	▲ 23.9	▲ 12.5	14.3	▲ 12.5	▲ 20.0
H 29.11 (n=41)	▲ 4.9	(▲ 0.3)	▲ 2.3	▲ 6.6	15.4	▲ 25.0	▲ 20.0
H 30.02 (n=39)	2.6	(7.5)	▲ 12.2	▲ 6.7	27.3	▲ 22.2	25.0
H 30.05 (n=44)	6.8	(4.2)	▲ 12.8	6.2	28.6	▲ 42.8	14.2
H 30.08 (n=43)	▲ 2.3	(▲ 9.1)	▲ 18.2	▲ 29.4	7.7	0.0	60.0
前回調査比	-	-	-	(▲ 35.6)	(▲ 20.9)	(42.8)	(45.8)
先行き見通し	▲ 7.0	-	-	▲ 11.7	0.0	▲ 12.5	0.0
今回調査比	(▲ 4.7)	-	-	(17.7)	(▲ 7.7)	(▲ 12.5)	(▲ 60.0)

④ 置 賜

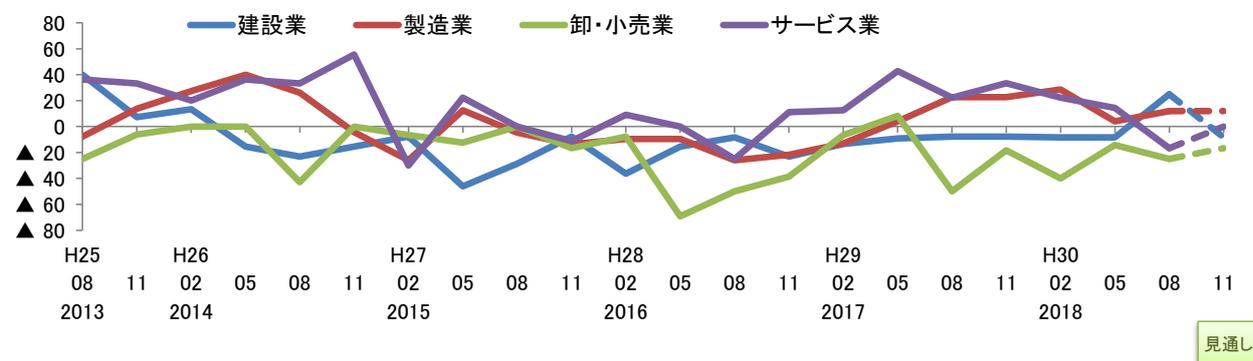
「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は 3.7（前回調査比 5.4 ポイント上昇）と改善した。業種別にみると、建設業と製造業で改善となり、建設業では D I 値がプラスに転じた。

業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が 0.0（今回調査比 3.7 ポイント下落）と若干悪化が見込まれている。

図表 19 置賜「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



図表 20 置賜「業種別・自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

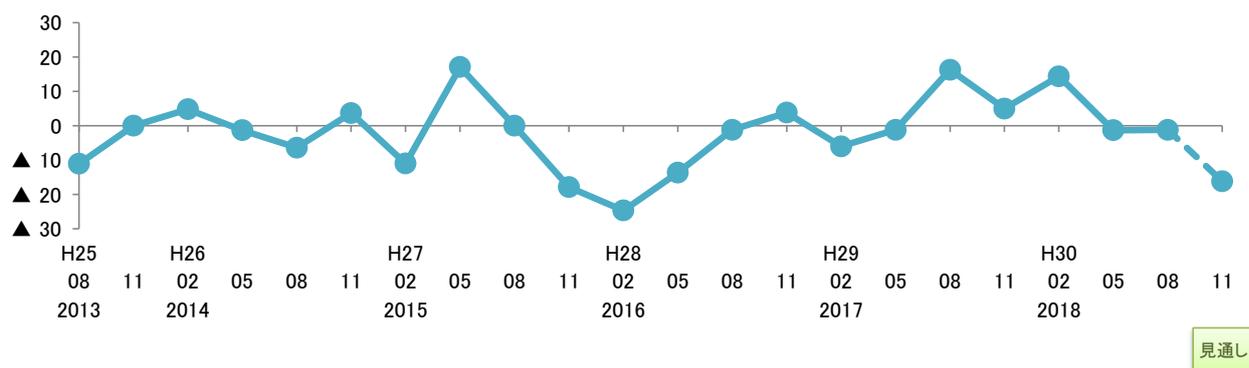
置 賜 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			業種別/自社業況（前年同期比）			
	全業種	前回調査比	前回調査予測	建設	製造	卸・小売	サービス
H 29.08 (n=58)	0.0	(▲ 7.4)	1.8	▲ 7.7	4.0	▲ 50.0	22.2
H 29.11 (n=52)	7.6	(7.6)	▲ 10.4	▲ 7.7	22.7	▲ 18.2	33.4
H 30.02 (n=52)	5.7	(▲ 1.9)	▲ 19.2	▲ 8.3	28.6	▲ 40.0	22.2
H 30.05 (n=58)	▲ 1.7	(▲ 7.4)	0.0	▲ 8.3	4.0	▲ 14.3	14.3
H 30.08 (n=55)	3.7	(5.4)	0.0	25.0	12.0	▲ 25.0	▲ 16.6
前回調査比	-	-	-	(33.3)	(8.0)	(▲ 10.7)	(▲ 30.9)
先行き見通し	0.0	-	-	▲ 8.3	12.0	▲ 16.6	0.0
今回調査比	(▲ 3.7)	-	-	(▲ 33.3)	(0.0)	(8.4)	(16.6)

⑤ 庄内田川

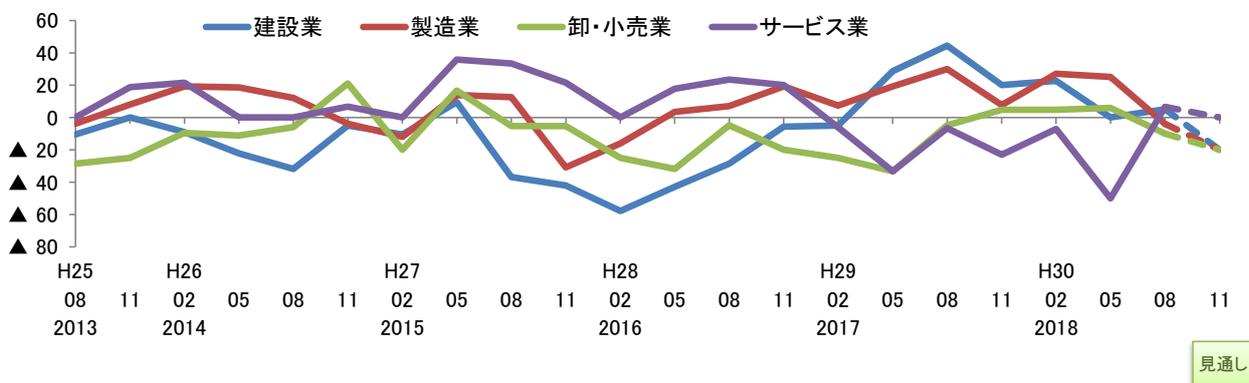
「自社の業況DI値（前年同期比）」は▲1.2（前回調査比0.1ポイント上昇）とほぼ横ばいとなった。業種別にみると、建設業、サービス業で改善となった一方、製造業、卸・小売業で悪化となり、ばらつきがみられる。

業況の先行き見通しは、「自社の業況DI値（前年同期比）」が▲16.2（今回調査比15.0ポイント下落）と大幅な悪化が見込まれている。

図表 21 庄内田川「自社業況DI値（前年同期比）」の推移



図表 22 庄内田川「業種別・自社業況DI値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況DI値

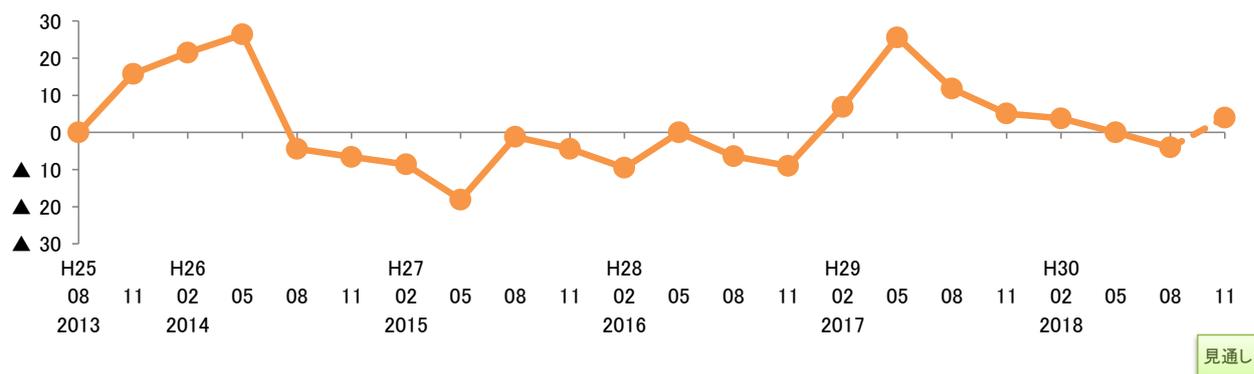
庄内田川 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			業種別/自社業況（前年同期比）			
	全業種	前回調査比	前回調査予測	建設	製造	卸・小売	サービス
H 29.08 (n=86)	16.3	(17.5)	▲ 14.4	44.5	30.0	▲ 4.8	▲ 6.6
H 29.11 (n=80)	5.0	(▲ 11.3)	▲ 4.6	20.0	7.7	4.8	▲ 23.1
H 30.02 (n=83)	14.4	(9.4)	▲ 10.0	22.7	27.0	4.8	▲ 7.1
H 30.05 (n=79)	▲ 1.3	(▲ 15.7)	▲ 10.8	0.0	25.0	5.9	▲ 50.0
H 30.08 (n=80)	▲ 1.2	(0.1)	▲ 25.3	5.0	▲ 4.0	▲ 10.0	6.6
前回調査比	-	-	-	(5.0)	(▲ 29.0)	(▲ 15.9)	(56.6)
先行き見通し	▲ 16.2	-	-	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	0.0
今回調査比	(▲ 15.0)	-	-	(▲ 25.0)	(▲ 16.0)	(▲ 10.0)	(▲ 6.6)

⑥ 庄内飽海

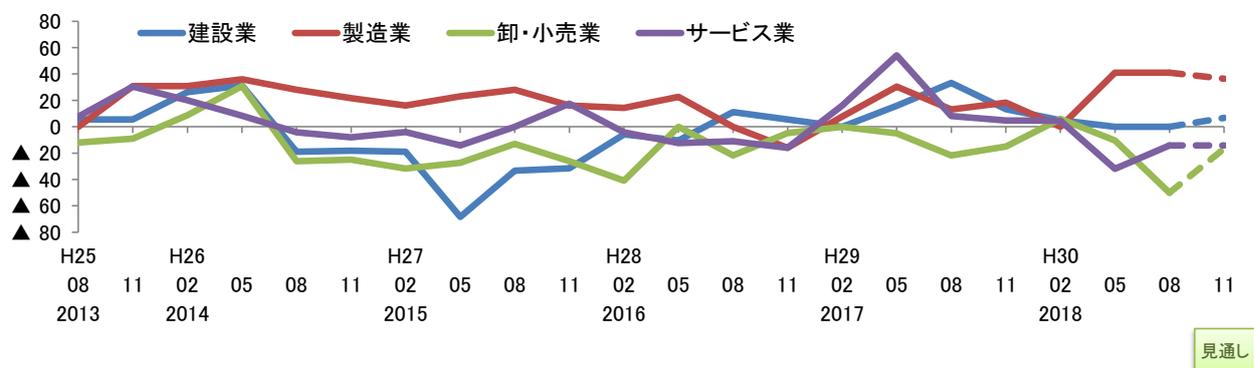
「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は▲4.0（前回調査比 4.0 ポイント下落）と 5 期連続で悪化し、D I 値がマイナスに転じた。業種別にみると、建設業と製造業で横ばい、サービス業で改善となったものの、卸・小売業で大幅な悪化となった。

業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が 4.0（今回調査比 8.0 ポイント上昇）と改善の見込みとなっている。

図表 23 庄内飽海「自社の業況 D I 値（前年同期比）」の推移



図表 24 庄内飽海「業種別・自社の業況 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

庄内飽海 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			業種別/自社業況（前年同期比）			
	全業種	前回調査比	前回調査予測	建設	製造	卸・小売	サービス
H 29.09 (n=85)	11.8	(▲ 13.8)	▲ 2.3	33.3	13.0	▲ 21.7	8.0
H 29.11 (n=78)	5.1	(▲ 6.7)	▲ 7.1	13.3	18.2	▲ 15.0	4.8
H 30.02 (n=80)	3.8	(▲ 1.3)	▲ 8.9	5.0	0.0	5.9	4.5
H 30.05 (n=81)	0.0	(▲ 3.8)	▲ 17.5	0.0	40.9	▲ 10.5	▲ 31.9
H 30.08 (n=76)	▲ 4.0	(▲ 4.0)	▲ 13.6	0.0	40.9	▲ 50.0	▲ 14.3
前回調査比	-	-	-	(0.0)	(0.0)	(▲ 39.5)	(17.6)
先行き見通し	4.0	-	-	6.7	36.4	▲ 16.7	▲ 14.3
今回調査比	(8.0)	-	-	(6.7)	(▲ 4.5)	(33.3)	(0.0)

II. 景気天気予報図

【天気図の凡例】

特に好調	好調	まあまあ	不振	きわめて不振
$D \geq 30$	$30 > D \geq 10$	$10 > D \geq \Delta 10$	$\Delta 10 > D \geq \Delta 30$	$\Delta 30 > D$

山 形 県

→

今期の業況 来期の見通し

庄内飽海

→

最 上

→

庄内田川

→

村山北部

→

置 賜

→

村山南部

→

今期の概況

	山形県	村山南部	村山北部	最上	置賜	庄内田川	庄内飽海
全業種							
建設業							
製造業							
卸・小売業							
サービス業							

来期の見通し

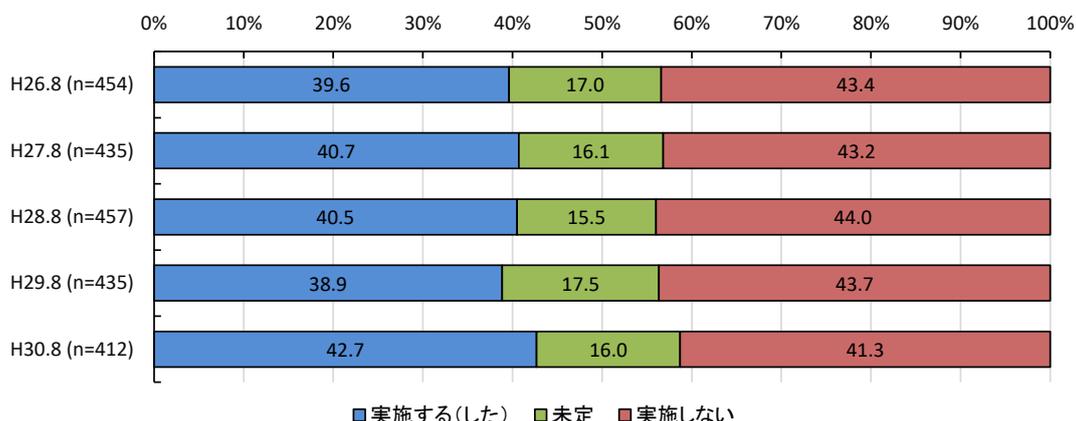
	山形県	村山南部	村山北部	最上	置賜	庄内田川	庄内飽海
全業種							
建設業							
製造業							
卸・小売業							
サービス業							

III. 特別調査

1. 設備投資動向

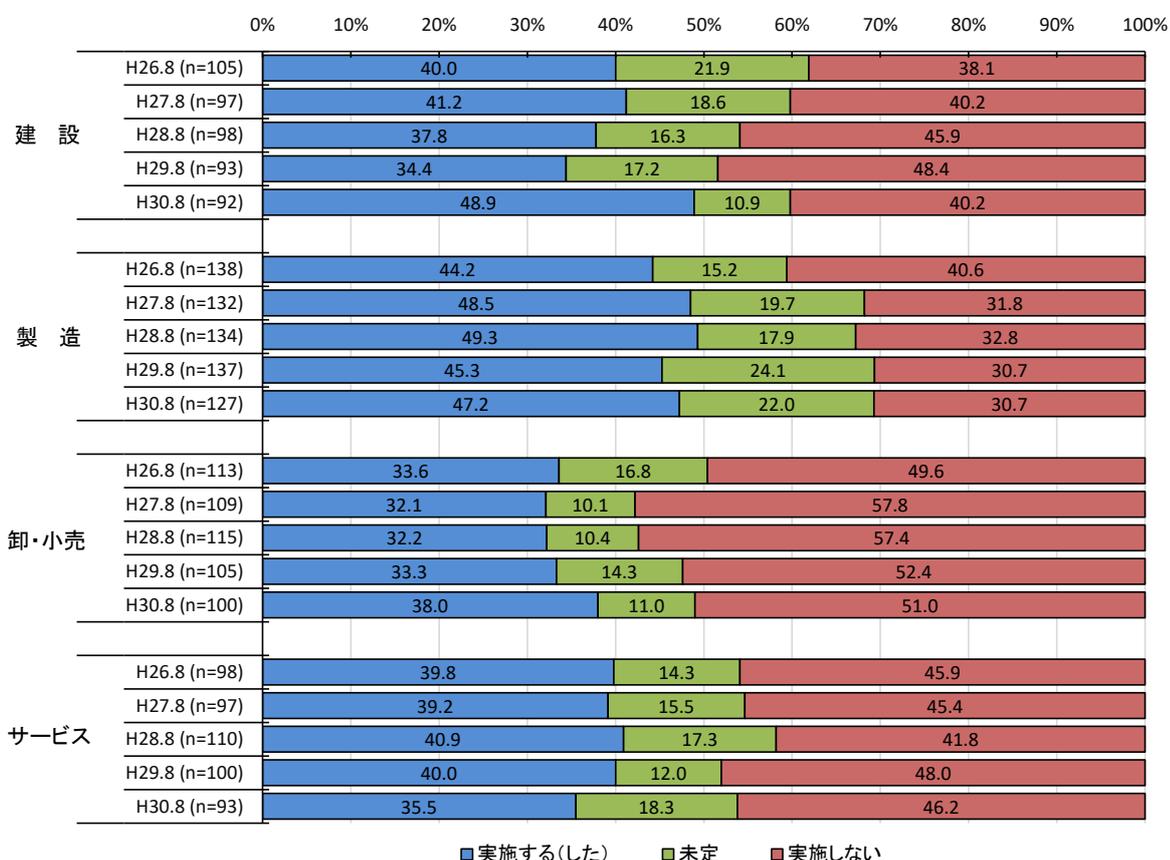
30 年度中に設備投資を「実施する（した）」と回答した企業の割合は 42.7%と、前年度に比べ 3.8 ポイント上昇となった。

図表 25 「設備投資動向」の推移



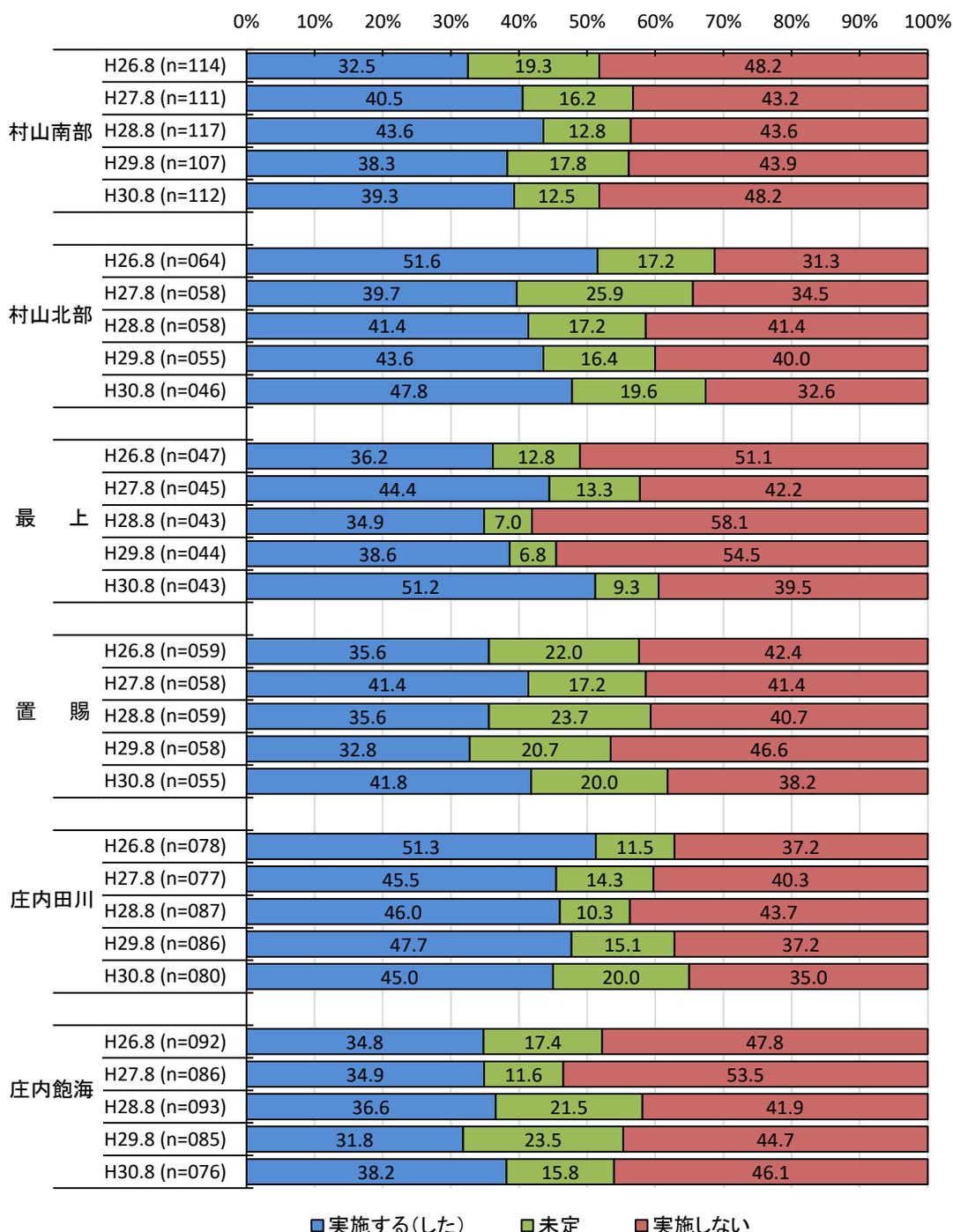
業種別にみると、「実施する（した）」と回答した企業の割合は、建設業が 48.9%（前年度比 14.5 ポイント上昇）、製造業が 47.2%（前年度比 1.9 ポイント上昇）、卸・小売業が 38.0%（前年度比 4.7 ポイント上昇）、サービス業が 35.5%（前年度比 4.5 ポイント低下）と、卸・小売業を除く 3 業種で上昇した。

図表 26 業種別 「設備投資動向」の推移



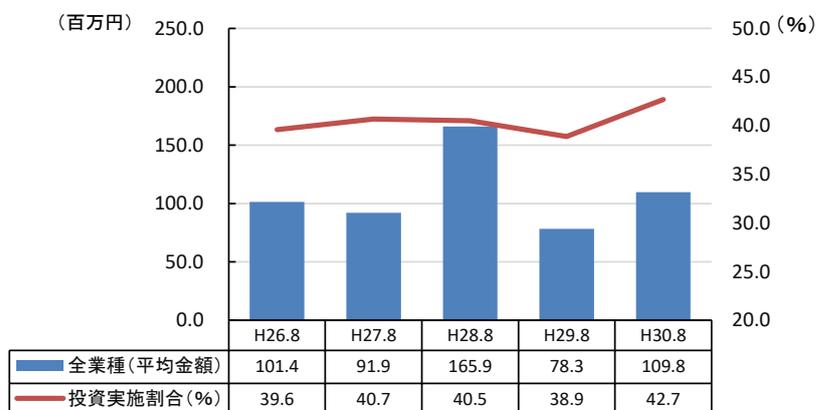
地域別にみると、「実施する（した）」と回答した企業の割合は、村山南部は 39.3%（前年度比 1.0 ポイント低下）、村山北部は 47.8%（前年度比 4.2 ポイント上昇）、最上は 51.2%（前年度比 12.6 ポイント上昇）、置賜は 41.8%（前年度比 9.0 ポイント上昇）、庄内田川は 45.0%（前年度比 2.7 ポイント低下）、庄内飽海は 38.2%（前年度比 6.4 ポイント上昇）となり、庄内田川を除く 5 地域で上昇となった。

図表 27 地域別 「設備投資動向」の推移



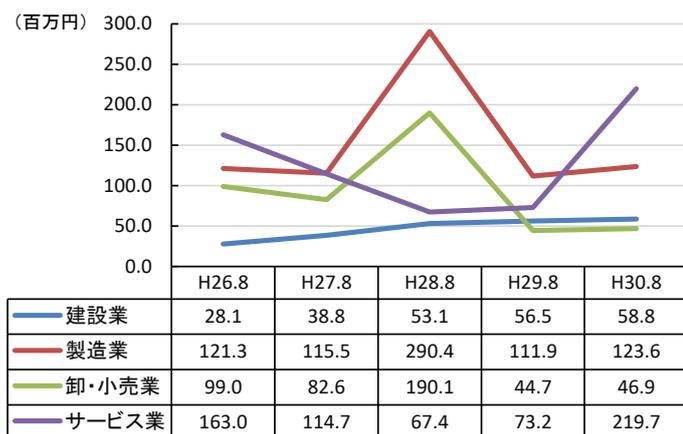
2. 設備投資金額

図表 28 全業種 「平均設備投資金額と実施割合」の推移



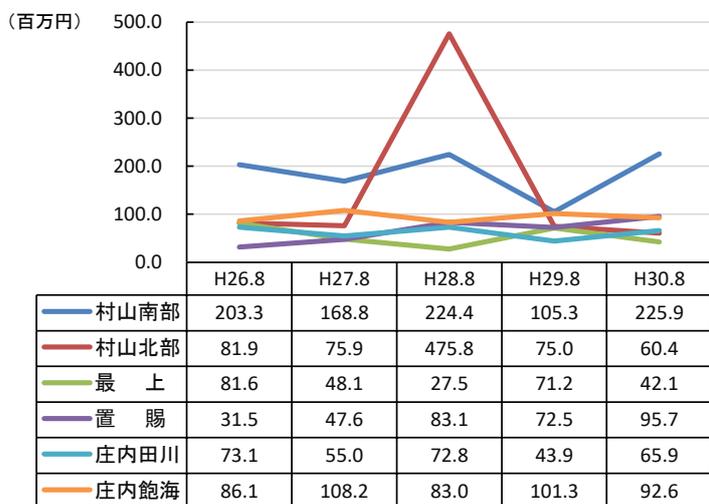
設備投資を「実施する(した)」と回答した企業に投資額を尋ねたところ、1社あたり平均設備投資金額(予定含む)は1億980万円で、前年度の調査時点よりも3,150万円増加した。

図表 29 業種別 「平均設備投資金額」の推移



業種別にみると、建設業が5,880万円(前年度比230万円増加)、製造業が1億2,360万円(前年度比1,170万円増加)、卸・小売業が4,690万円(前年度比220万円増加)、サービス業が2億1,970万円(前年度比1億4,650万円増加)となり、全業種で増加となった。

図表 30 地域別 「平均設備投資金額」の推移



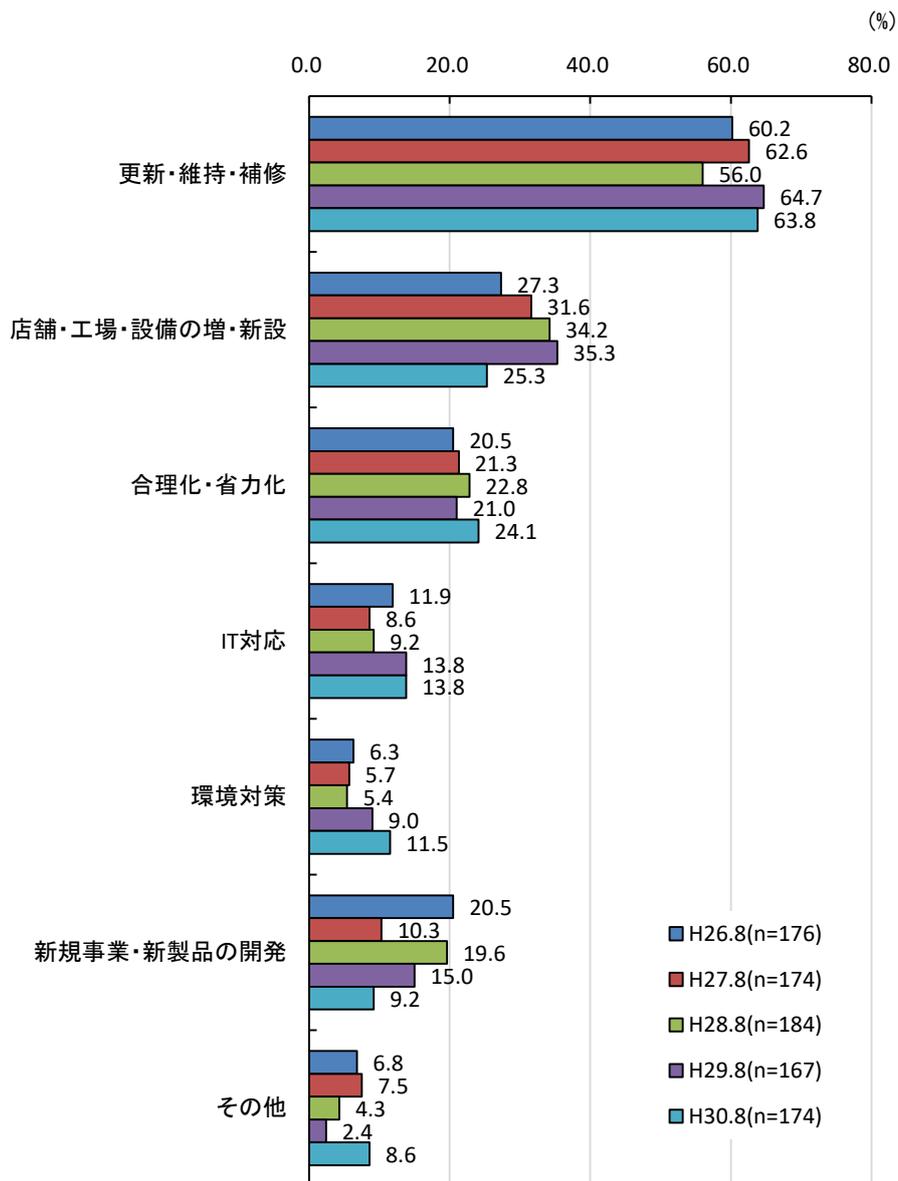
地域別にみると、村山南部が2億2,590万円(前年度比1億2,060万円増加)、村山北部が6,040万円(前年度比1,460万円減少)、最上が4,210万円(前年度比2,910万円減少)、置賜が9,570万円(前年度比2,320万円増加)、庄内田川が6,590万円(前年度比2,210万円増加)、庄内飽海が9,260万円(前年度比870万円減少)となり、村山南部、置賜、庄内田川で増加となった。

3. 設備投資目的

設備投資の主な目的について尋ねたところ（複数回答）、「更新・維持・補修」と回答した企業の割合が 63.8% と最も高く、前年度とほぼ同水準となった。次いで「店舗・工場・設備の増・新設」が 25.3%、「合理化・省力化」が 24.1%となっている。このような傾向は直近 5 か年で変わっていない。

「店舗・工場・設備の増・新設」は 4 年ぶりに低下し、「環境対策」は 2 年連続で上昇となった。

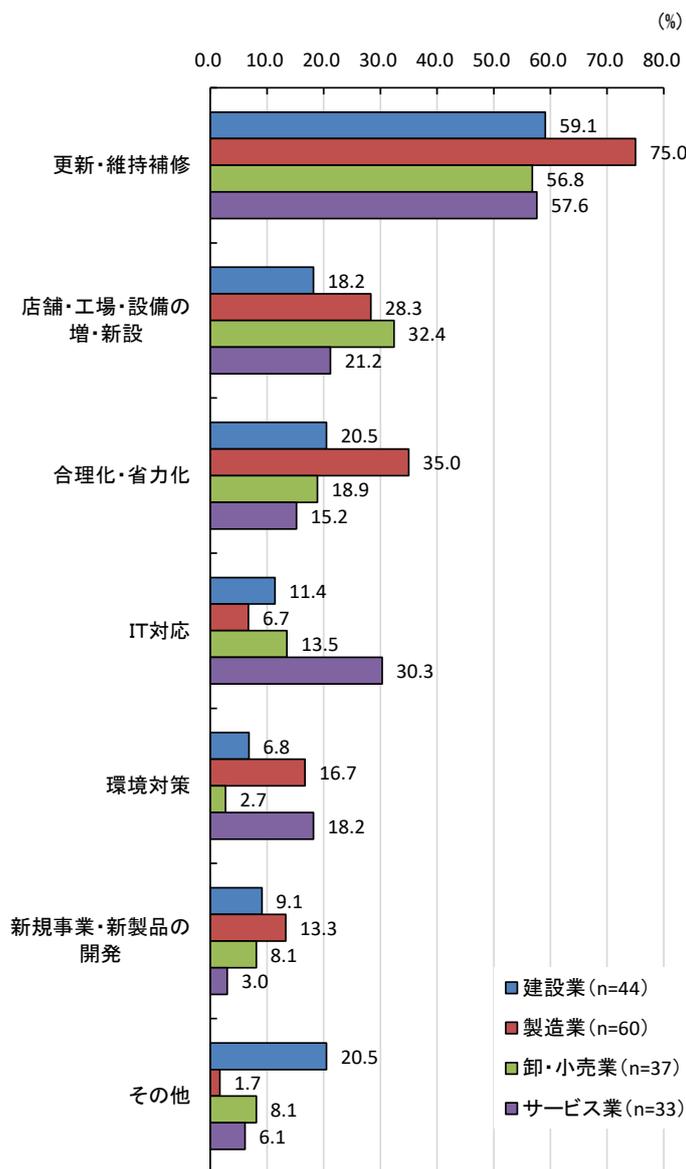
図表 31 「設備投資の目的」の推移（複数回答）



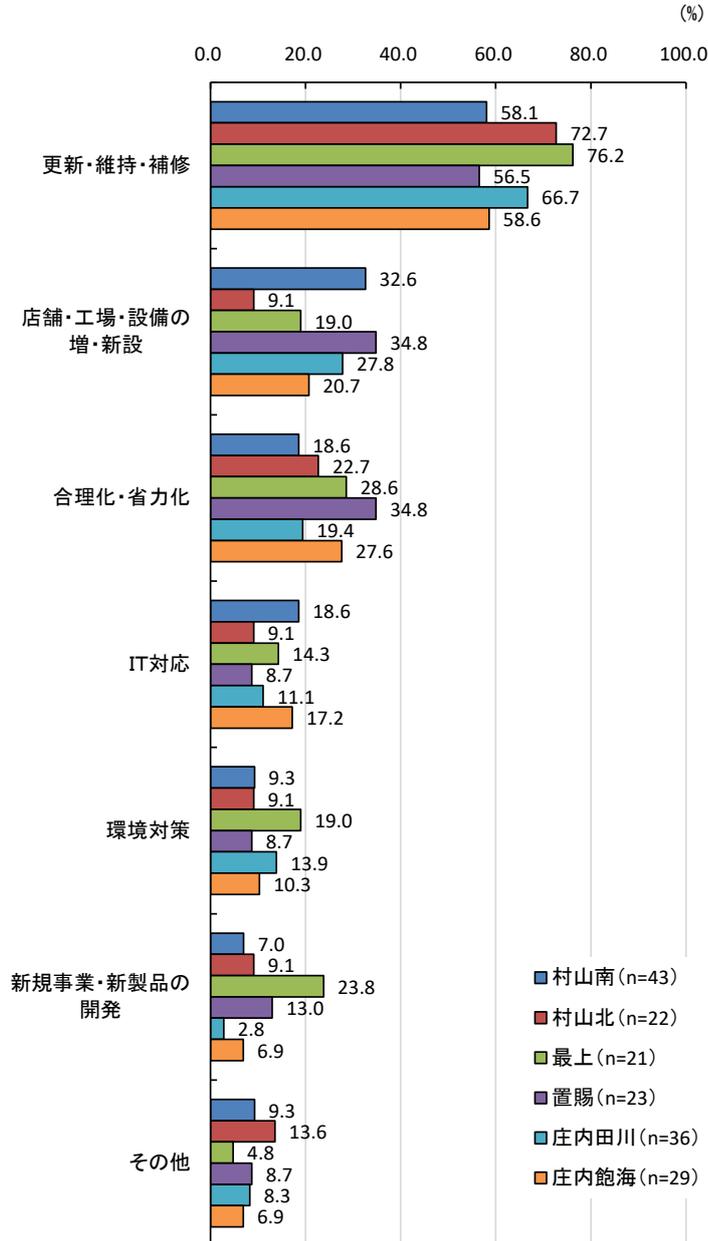
業種別に投資目的をみると、すべての業種で、「更新・維持・補修」が最も高い。建設業と製造業では、「合理化・省力化」が「店舗・工場・設備の増・新設」よりも高い割合となっている。

地域別に投資目的をみても、すべての地域で「更新・維持・補修」の回答割合が最も高くなっている。

図表 32 業種別「設備投資の目的」(複数回答)



図表 33 地域別「設備投資の目的」(複数回答)



<参考資料Ⅰ：地域別・業種別回答率>

(サンプル数：社)

	建設	製造	卸・小売	サービス	合計
村山南部	23	35	48	55	161
村山北部	20	34	17	18	89
最上	21	18	11	18	68
置賜	23	32	25	13	93
庄内田川	30	38	29	29	126
庄内飽海	35	35	32	37	139
合計	152	192	162	170	676

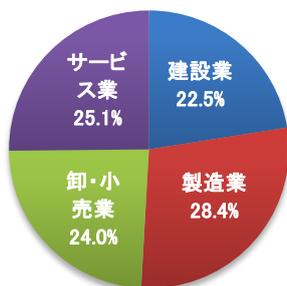
(回答数：社)

	建設	製造	卸・小売	サービス	合計
村山南部	17	24	30	41	112
村山北部	11	18	12	5	46
最上	17	13	8	5	43
置賜	12	25	12	6	55
庄内田川	20	25	20	15	80
庄内飽海	15	22	18	21	76
合計	92	127	100	93	412

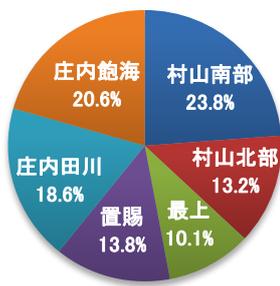
(回答率：%)

	建設	製造	卸・小売	サービス	合計
村山南部	73.9	68.6	62.5	74.5	69.6
村山北部	55.0	52.9	70.6	27.8	51.7
最上	81.0	72.2	72.7	27.8	63.2
置賜	52.2	78.1	48.0	46.2	59.1
庄内田川	66.7	65.8	69.0	51.7	63.5
庄内飽海	42.9	62.9	56.3	56.8	54.7
合計	60.5	66.1	61.7	54.7	60.9

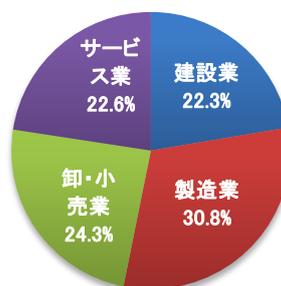
サンプル割合（業種別）



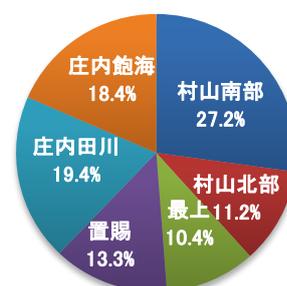
サンプル割合（地域別）



回答社割合（業種別）



回答社割合（地域別）



<参考資料Ⅱ：調査の概要>

● 調査の目的

県内に本社を置いて企業活動を営む法人企業を対象に、各社の業況の現状と今後の見通しに関する判断を調査し、県内の景気動向について把握するために実施した

● 調査の方法

インターネットを利用したアンケート調査（一部 F A X を利用）

● 調査期間

平成 30 年 8 月 1 日(水)～16 日(木)

● 地域区分

地域名	対象となる市町村名
村山南部	山形市、上山市、山辺町、中山町
村山北部	寒河江市、村山市、天童市、東根市、尾花沢市、河北町、西川町、朝日町、大江町、大石田町
最 上	新庄市、金山町、最上町、舟形町、真室川町、大蔵村、鮭川村、戸沢村
置 賜	米沢市、長井市、南陽市、高畠町、川西町、小国町、白鷹町、飯豊町
庄内田川	鶴岡市、庄内町、三川町
庄内飽海	酒田市、遊佐町

● 調査の内容

アンケート調査は、各企業の業況判断について3肢択一方式を採用している。毎回必ず調査する「定例調査」と、調査時期にふさわしい経済トピックス等について調査する「特別調査」とを設けている

項 目	選択肢 (択一方式)
自社の業況 (共通項目)	1. 良い 2. さほど変わらない 3. 悪い
業界の業況 (共通項目)	1. 良い 2. さほど変わらない 3. 悪い
売上高 (建設業を除く)	1. 増えた 2. さほど変わらない 3. 減った
完成工事高 (建設業)	1. 増えた 2. さほど変わらない 3. 減った
営業利益 (共通項目)	1. 増えた 2. さほど変わらない 3. 減った
人員や人手 (共通項目)	1. 足りない 2. ちょうどよい 3. 余っている
資金繰り (共通項目)	1. 楽になった 2. さほど変わらない 3. 厳しい
原材料等の仕入価格 (製造業のみ)	1. 下がった 2. さほど変わらない 3. 上がった
製(商)品の仕入価 (卸・小売業のみ)	1. 下がった 2. さほど変わらない 3. 上がった
在庫状況 (製造業)	1. 増えた 2. さほど変わらない 3. 減った
手持工事高 (建設業)	1. 増えた 2. さほど変わらない 3. 減った

(注) 各項目とも「前年同期比」、「前期比」、「来期の見通し」について、それぞれ3肢択一方式を採用している

● 集計方法

各項目とも、現状判断、先行き見通しについてそれぞれDI値を算出する。DI値とは、Diffusion Index (ディフュージョン・インデックス)の略で、算出方法は次の通り

例) 自社の業況DI値

$$= (\text{「1. 良い」と回答した企業の割合}) - (\text{「3. 悪い」と回答した企業の割合})$$

たとえば「自社の業況DI値」がプラスであれば、相対的に自社の業況が良いと判断した企業が多いことになる。また、業況の変化の方向(良くなっているか、悪くなっているか)についても分かる

ちなみに、他のDI値についても同様に、選択肢「1. 」(「調査の内容」の「選択肢」欄をご参照のこと)を選んだ企業の割合から選択肢「3. 」を選んだ企業の割合を差し引いて算出する

<お知らせ>

F S N会員専用ホームページ (<http://www.bb-town.jp/cgi-bin/fsn.cgi>) にアクセスすると、統計データの最新版をダウンロードすることができます。こちらも是非ご利用ください。なお、過去の調査レポートや統計データは当社ホームページ (<http://www.f-ric.co.jp/>) 「調査レポート」コーナーからダウンロードすることができます。

<お問い合わせ先>

株式会社フィデア総合研究所

地域政策コンサルティンググループ 熊本 均 / 松田 美由紀

〒990-0043 山形県山形市本町1-4-2 荘銀山形ビル8F

TEL : 023-626-9017 FAX : 023-626-9038

E-mail : kenkyuu@f-ric.co.jp

URL : <http://www.f-ric.co.jp/>